

「全鍍連」 2023年 2月号 理事長のよこがお

山梨県鍍金工業組合 佐野 晶仁 (有)佐野鍍金工業所 代表取締役社長)

「人の育成について」



人材育成！ っ難しい！

従業員を募集する、入社する、「人在」そこから教育をする、うまくすれば「人材」失敗すると「人罪」… いろんな人がいて、その人なりの教育方法があると思う。もちろん教育する方も、される方も。

若者のインタビューを聞いた。注意もされず、怒られもしない、緩い会社だ。このままここにおいて自分は成長できるのだろうか？仕事を覚えられるだろうか？

教育する側の 50 台のインタビューもあった。怒ると辞めてしまう、パワハラにされてしまう、優しく寄り添いながら教育しなければならない。

昭和と Z 世代のせめぎあい。

いままでに何人の「人罪」をつくってしまい、何人の「人材」を育てのたろう？何もできずに「人在」のままだった人もいた。自分の中で、20 代の方は長続きしないというのがあった。中途で入った 30 代ぐらいの方が長続きすると思っていた。教育を始めると 20 代は日本語が通じている気がしないことがある。しかし、本人が納得するところが思ってもいないような人材に化けることがある。

30 代の人への教育をはじめると、よく聞き、吸収しようとする。しかし、自分の得意とすることには積極的だが、苦手なことになると自分の仕事ではない、という雰囲気で見向きもしなくなることもある。人それぞれに対してその人にあつた教育をしないと人は育たないと解っているのにできない。そう私ごときにそんなに何パターンも教育方法があるわけないのだ。それでも少ないパターンを駆使して育てていかなければならない。後継者として息子を人罪にはできない。やっと現場で戦力になったぐらいである。厳しくたたき上げていくのか、ひとつひとつ丁寧に説明していくか、失敗を乗り越え成長するのを待つか…

目標は「人材」としたい！ まだまだ先が長そうである。